



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 組織情宣部  
2024年2月24日 No.733

## 「2024春闘」JR社員の「声」 Part3

### 現場社員を大切にしない「会社への不満」が寄せられる

- ◎職名の廃止によって、運転士の免許を持つ社員の業務量がかなり多くなった。すべてを担える前提の基本給ではない。賃金は変えずに業務量だけ増えて喜ぶのは誰か。色々できるようになって喜ぶ社員なんていない。真のプロはどこ行ったのか。「その道のプロ」をつくることに拘ってきたはずだ。(信越)
- ◎過去最高益を出していた 2018 年と比較しないしてほしい。「2018 年度比〇%です」のように、経営側が提出してくる資料は、経営側にとって都合の良いところを切り取ったデータであり、騙されてはいけない。当時と背後要因は違うことは確かだが、利益は確実に出ている。その対価として賃金で支払うべきだ。(信越)
- ◎給与も上がらないのに「実行計画検討」などの委員会とかばかりで、希望もぜんぜん通らない。これから結婚して子供が生まれたりするのに、物価上昇ばかりで給与の上昇がぜんぜん比例していない。(関東)
- ◎基本給を上げないとダメだ。お客さまが戻ってきて収益もコロナ前くらいに戻っているのだから、社員に反映させないと！みんな辞めてしまう。(関東)
- ◎一つの仕事に集中出来ない。仕事への誇りも見えなくなって、みんながみんな発意を持ってステップアップできない！それを認めてもらえないのがつらい。(東北)
- ◎「お客さまに信頼されることが大切だ」と社員に言うわりには、信頼を失う事象を会社自ら発生させていないか。それで社員の給料を上げないのは、もっとおかしい。(信越)
- ◎統括センター化でさらに負担が増えそう。給料と見合っていない。(信越)
- ◎新幹線の架線トラブル、過去の事故がいかされていない。設備の老朽化では済まされないと思う。効率化と人減らしの結果だ。新年から色々事象が多すぎる。そろそろ社員も限界にきているのでは！？賃上げと要員を増やさないとダメだ。(関東)
- ◎仕事量のわりに賃金が見合っていないから、会社を離職する人が後を絶たない。賃金の基本ベースを上げなければ、物価上昇にも追い付かないし、離職も止まらない。(関東)
- ◎連合と経団連共、賃上げについて一致している。会社は賃上げできない理由を探すのではなく、現場社員の顔を見て賃上げをしてほしい！(東北)
- ◎兼務で働く量が増えている。転勤で希望しない仕事になることもある。これで基本給が上がっていかないと、モチベーションもあがらない。(関東)